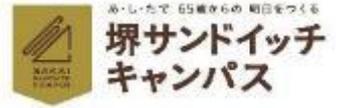


2024年1月7日（日）／3月20日（水・祝） 防災教育インストラクター養成講座
訓練だけじゃない！防災の伝え方



●ゲームで伝える避難の方法

防災教育インストラクター養成講座の修了生が、2つのイベントに出展しました。1月はファイアーフェスタ！水害の中で身につけるべき服装や持ち物を『水害させかえゲーム』を通して伝えます。年始に能登地方で起きた地震のこともあり、「できるだけたくさんの人に知ってほしい」という修了生の思いが、みなさんに届いたと信じています。

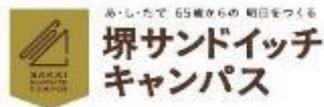
●コーヒー×防災で届ける『こども防災春まつり』

3月はBOUSAIカフェを出展し、紙食器のつくり方を伝えました。食器が割れた時にも使用でき、「袋をかぶせることで、水が出ないときでも繰り返し使えますよ」という修了生の一言に、参加されたみなさんは大きくうなずかれていました。そこにチョコレートソースでアレンジした長期保存用のビスケットと、コーヒー教室修了生がドリップしたコーヒーをプレゼント。防災の伝え方はいろいろあることを実践しました。

事業概要

日 程 2024年1月7日（日）
 2024年3月20日（水・祝）
 場 所 ららぽーと堺
 堺市総合防災センター

2024年5月29日（水）地域で活かそう！たのしく学べる防災教室① 「楽しい」から防災の学びを深めていく



●「たのしい」をきっかけに、防災に興味をもらう活動を

美原区にある堺市総合防災センターを会場に、防災教室がスタート。自治会の防災担当で普段から意欲的に活動されている方から、自宅が近所のため気軽に参加したという方など、バックボーンは異なるものの、それぞれ防災に対する熱い想いを抱いているみなさん。講師 プラス・アーツ永田宏和さんの『たのしく防災を伝えること』のお話に感動された様子で、「活動がマンネリ化していたので、工作やゲームを通じて、たのしく学ぶというのは自分の中で新しい発見です！」と話してくださった方も。

●小さい頃、憧れた消防車に乗車体験！防災センターの見学ツアー

永田さんのお話を経て、防災センターの寺内さんに施設を案内していただきました。防災クイズに挑戦したり、消防車の前で記念撮影をしたり、終始少年少女のように目を輝かせながらツアーに参加したみなさん。最後の振り返り会では「防災に対する興味が湧きました！」「全然眠たくなってむしろもっと勉強したかった～！！」とみなさんの防災への意欲が高まっている様子も見受けられ、満足感の高い初回になりました。

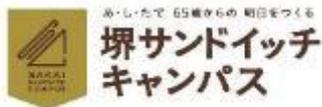
事業概要

日 程 2024年5月29日（水）

場 所 堺市総合防災センター

参加者 8名

2024年6月19日（水）地域で活かそう！たのしく学べる防災教室② 相手により伝わる在宅避難の伝え方とは



● 「防災」をより相手に分かりやすく伝えるポイント

防災の知識を相手に伝えていくことで、自分の身の安全を守るだけでなく、地域防災へとつながっていきます。だからこそ、防災教室では、ただ学んで終わりではなく、家族や友人、地域の方など他の誰かに伝えることを目標としています。相手に伝える時に大切なことは「実体験や被災者の経験談をまぜて話すこと」「物だけでなく個数も伝えること」です。講師から、実例まじりの在宅避難用のグッズレクチャーを受けました。自分の知識をたくわえるのはもちろんのこと、人への伝え方を同時に確認します。

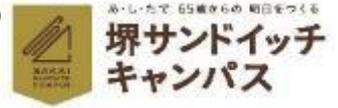
● 在宅避難で快適に過ごせるおすすめグッズ

講師の話した内容を一生懸命にメモしたり、防災グッズを写真に撮ったりしていたみなさん。すでに防災対策を自宅で実践されている方からは「今まではこれで大丈夫だと思っていたものの、抜け漏れがあった」「家族と一緒に自宅の備蓄品も一緒に確認したい！」という声もありました。ぜひ今日の学びを家族や友人に伝えていけるようにしたいですね。

事業概要

日 程 2024年6月19日（水）
場 所 堺市総合防災センター
参加者 9名

2024年7月17日（水）地域で活かそう！たのしく学べる防災教室③ 防災工作や防災ゲームについて学ぶ



●ゲームで楽しく防災知識を身につけよう！

防災は訓練や講座だけでなく、ゲームでも伝えることができます。今回はイザ という時に役に立つ知識が身につくゲーム『シャッフル+』、災害で発生する様々なトラブルを解決するのにもっともふさわしいと思うものを考えるゲーム『なまずの学校』を体験しました。出題者になったり回答者になったりしながら、意外な道具が活躍することに気づき、正解すると“\$なまーず”（得点）がもらえるなど、思わず笑顔がこぼれました。

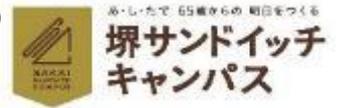
●世界にひとつだけ！手作り防災グッズ

今回は紙食器と子ども用のカップを作りました。災害時は「今ある物で、できることをするのが大切」です。作り方を教えるだけでなく、参加者に世界でひとつだけのデコレーションをしてもらうことで、楽しい記憶と共に防災知識が身につくとのこと。作業前に、実際の豪雨の写真や粉塵が舞っている写真見せると、より説得力が出ますできあがりを試着して、みなさんニッコリ！ちょっと小さいけど素敵なカップができました。難しすぎないのもポイントであることに気づくことができました。

事業概要

日 程 2024年7月17日（水）
場 所 堺市総合防災センター
参加者 9名

2024年7月24日（水）地域で活かそう！たのしく学べる防災教室④ 楽しみ方を人に伝える！



●楽しく・わかりやすく防災知識を伝えよう！

4回目は宿題の発表からスタート！2回目に学んだ『防災グッズ』について、1人3分間で他の人にレクチャーします。実際に経験した停電のエピソードを入れながらランタンの説明をしたり、口腔ケア用ウェットティッシュの実物を用意し、みなさんに体験していただきながら説明する方や、カセットコンロを買って実際にアイラップを使ってご飯を炊いてみた方も！伝わりやすく説明するための工夫が素晴らしいです。

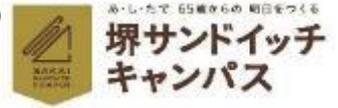
●こどもの目線やこどもらしい質問など想像をふくらませて！

後半は防災ゲームと防災工作を復習。この2つは、9月1日に開催される防災センターでのイベントでもお披露目します。どのように説明したら子どもたちに伝わりやすいかを考えました。カードゲームの説明者と、子ども役に分かれ、ロールプレイング！みなさんの瞳がどんどん輝いてきました。この講座を通して、地域で防災担当になった方の引き出しも増えてきたようです。

事業概要

日 程 2024年7月24日（水）
場 所 堺市総合防災センター
参加者 8名

2024年8月21日（水）地域で活かそう！たのしく学べる防災教室⑤
今後の活動に活かすには？



●どのように人に伝えて行くか考えよう！

防災教室で学んだことを、どのように人に伝えていくのか、どのように普段の活動につなげていくのかを考えました。講師は日本にとどまらず海外でも防災教育を実践しています。その事例紹介をしていただき、若い頃の「テントの組み立て方」「火のおこし方」「ロープの結び方」といったキャンプ経験が、防災に結び付くことに気づけた方も。今回は、学んだことを地域で活かす方法を、具体的に講師と検討しました。

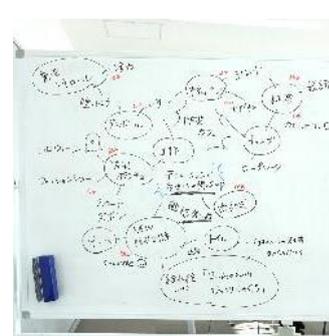
●いっしょに活動する仲間をどうやってつくるの？

防災を伝えたい気持ちはあるけれど、1人で伝えるのは難しいこともあります。現在フィールドを持って活動されている方に「どのように活動仲間を集めているの？」と話を聞くと、「とにかくいろんな人に、こんなことやりたい！と言うことが大事！」「不思議とやっていたら手伝ってくれる人もいるし、共鳴してくれる人が集まってくる」とのこと。講師も「誰も講座に来なくても、とにかく1人でやり切る気持ちで取り組んでいる」という気持ちを大切にしているそうです。まずは、自分の得意なことから、防災に役立つ知識や技術を人に伝えていけるといいですね。

事業概要

日 程	2024年8月21日（水）
場 所	堺市総合防災センター
参加者	4名

2024年9月11日（水）地域で活かそう！たのしく学べる防災教室⑥ 自分ができることから始める！



●防災教室での学びをアクションに！

最終回は、これまで防災教室で学んだことをもとに、各自がやってみたこと、やろうと思っていることなどを座談会形式で発表。自宅でダンボール工作をやってみたと椅子を持って来られる方、ロープを持参してロープワーク実演してくださる方、自治体の防災担当として消防署に相談したことを話す方、テレビで見た最新の防災情報を話す方など、みなさん『自分ができること』『得意なこと』から行動を始めていることがわかりました。

●防災への想いを繋ぐ

いろんな防災プログラムが生まれた背景と共に、防災に興味を持ってもらう工夫や伝え方の工夫など、講師経験談には、イベント企画のヒントがたくさんありました！「来春、地域で防災イベントをするので手伝って欲しい！」との投げかけに「手伝いたい！」と反応があったり、防災センターで開催される『みはら区民まつり』の出展に「準備から手伝うよ！」と手を挙げる方もいて、この講座をとおして、地域を超えた防災の輪が広がりはじめました。

事業概要

日 程 2024年9月11日（水）
場 所 堺市総合防災センター
参加者 8名